

発行元	株式会社お問合せポータル お問合せポータル研究所 東京都世田谷区奥沢7-20-19 TEL 03-5758-6097
発行日	2011年12月5日 毎月第2曜日発行

News

新たな支払い方法の流れとは？

2011年11月4日の日経新聞に電子マネー普及状況という記事があった。記事によると現在の発行枚数は約1億6000万枚。Edyを筆頭にSuica、PASMOと続く状況である。2009年10月末の数字と比較しても約1億2000万枚の発行数であつたことをみると、約4000万枚も増えていることが分かる。

そもそも非接触IC型電子マネーは、クレジットカード同様現金を使わずに手軽に決済が可能であるという特徴があり、カード型以外にも携帯電話に埋め込まれており、クレジットカードよりも比較的身近なものとして普及している。また、利用に関してクレジッドカードとは異なり、入会審査もなく自分で定めた金額をチャージしたうえで利用するため、少額ないし端数決済には適した支払手段である。



問題点としてはカードごとにご利用できる店舗が限定をされていたり、そもそも利用できる場所自体がまだまだ少ないという問題もあるが、最近ではコンビニ以外にも大手ファーストフード店居酒屋などの飲食関係から、美容室やドラッグストア、調剤薬局など小売りやサービス業、自動販売機まで裾野が広がっている。よって、利用箇所が増えるに伴いよりいっそう利用率も高まってくるだろう。

さて、この非接触IC型電子マネーの利用者側のメリットを考えると、チャージした金額しか

利用できない分、余計な支出をしなくて済むという点、少額決済や端数決済向きのため、小銭の必要が無いという支払い時の手間を省くというメリットがあるが、最大のメリットとしては利用時に発生するポイントであろう。例えばクレジットカードと提携を結んでいるのであれば利用額がクレジットのポイントとして還元される、マイルへの還元も可能だ。

最後に導入店舗側のメリットとしては「収益増加」と「コスト削減」が考えられる。前述のとおり利用側には、利用ごとにポイントが付与されるため、同じものをおうとした場合には当然得になる方を選択する可能性がある。また、カードメイン決済になると扱う硬貨の量が減るためその分補充や回収にかかるコストの削減が期待できる。ただ、導入に際しては、クレジットカード同様機器導入に当たるインシャルコストや利用ごとに発生する手数料があるため、導入の際にはそのあたりは検討する必要がある。

私もお問合せポータルにも最近電子マネーの導入を検討される法人からの相談が増えています。理由としては、現金以外の決済手段が欲しい、クレジットカードは導入済みで新たに電子マネーを導入したいというのが理由になる。またお問合せの傾向を見ると少額決済をしている小売業やサービス業からのお問合せが多いのが特徴だ。このように電子マネー決済導入をすることでメリットを得られる可能性も高いため、新たな決済の手段として検討してみたいかだろうか？

(担当・・・シテコンシェルジュ 熊谷)

Report

紙を減らしてコスト削減！

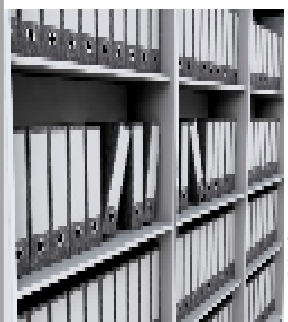
2011年6月27日国立国会図書館がデジタル化資料の提供数100万点を超えたことを発表した。そもそも国立国会図書館資料デジタル化とは、所蔵資料を画像としてデジタル化する事で、遠隔利用を含めた、所蔵資料のデータ閲覧ができる点や原資料の代わりにデジタル化した資料を提供することで、原資料をより良い状態で保存可能な点になる。国立国会図書館は日本で出版された全ての本や雑誌を所蔵しており、平成23年3月末時点で約3750万点の所蔵がある。これを補完する建物延べ面積も15万平方メートルの東京本館と6万平方メートルの関西館と途方もない数字である。所蔵のデジタル化により利用者にとってはデータでより手軽に資料を閲覧できるというメリットがあり、今後より一層の所蔵のデジタル化や閲覧可能数が増えることを期待したい。

さて、先の例は国を挙げての事業かつ大規模な例になるが、一般企業の紙文書の電子化についてはどうだろうか？弊社運営のお問合せポータルにも社内文書の電子化を希望する相談が日に日に増えている。検討されたいきっかけは、概ね2つに分けられる。

1つ目は保管場所が手狭になったことにより、増設等の保管コストのアップを考えた場合、電子化により、資料保管場所を削減して管理コストを削減したい。2つ目は資料を電子化することで複数人ないし多拠点で閲覧できるようにしたいという、利便性アップを狙ったものだ。企業規模や業種については、特に偏りはなく、幅広い業種や規模の会社で興味がある事項なのだろう。

紙文書の電子化は省スペース管理が可能である点や遠隔地や複数名での閲覧が可能な利便性が挙げられるが、当然注意すべき事項もある。まずはデータ化以降の利用について、ファイル名を連番などにして、しっかりと管理をすることだ。これをしてしまうと電子化をしても、いざ資料の閲覧をする際、探す手間が発生してしまう。もう一点は安全性になる。例えば、保存しているデータが破損して消えてしまう点やデータのコピーなどによる盗難の恐れがある。前者については、バックアップ等の手法で2つ以上のデータを作成することをお勧めする。後者は紙文書同様盗難リスクがあるため、こちらについてはアクセス権限を設ける、セキュリティ対策を取るなどで対策をする必要がある。

このように紙媒体の電子化にはメリットも多いが、当然リスクもあるため実施を検討する際には、前述の点を踏まえて検討をすることをお勧めする。不明な点などあれば、是非弊社コンシェルジュへご相談を頂けると解決の一助になるよう誠意をもって対応させていただきます。



(シテコンシェルジュ 熊谷)

お問合せ特典として弊社完全オリジナル小冊子「アウトソーシングの知恵袋」をプレゼント中！
詳細は次ページをご覧ください！

お問合せプレゼントキャンペーン

■キャンペーン概要

弊社にお問合せを頂き、企業紹介に至った方全員を対象に、弊社完全オリジナル小冊子「**アウトソーシングの知恵袋**」を進呈致します！

ビジネスのご相談であれば、全て承らせて頂きますので、どんどんご相談を頂けると幸いです！

お問合せ時には必ず「**月刊コンシェルジュを見た**」とお伝え頂くか、メールの場合はご記載下さい。

■プレゼント内容について

「アウトソーシングの知恵袋」は弊社作成オリジナル小冊子になります。内容は現在弊社にて保有をしている約550カテゴリの内、特にご相談が多い事項の一部を纏めた資料になります。

また、女子高生コンシェルジュ問合洋子（といあいようこ）が活躍をする、動画のURLも記載しております。

この小冊子が少しでも貴社のビジネス解決の一助となれば幸いです。

※冊子は郵送にて送付を致しますので、ご住所の指定をお願い致します。



お問合せポータル
公式キャラクター

女子高生コンシェルジュ
問合 洋子
(といあいようこ)

■お問合せ方法について

お電話の場合：0120-56-2347 フリーダイヤルにて承っております。
メールの場合：conciierge@otoiawase.co.jp

月刊コンシェルジュ記事内容並びにキャンペーンについてお問い合わせの際には下記お電話番号にて担当熊谷(クマガイ)宛までご連絡下さい。もっとこんな記事が読みたい、プレゼントにはこんなものが欲しい等担当が全力で交渉をしますので、何なりとお申し付け頂けると幸いです。

お問合せ電話番号：03-5758-6097 mail：conciierge@otoiawase.co.jp